

都道府県名	岡山県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	総社市立神在小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8	15
児童数	34	26	39	27	26	26	3	181	

研究の概要

1. 研究主題

「確かな学力を身に付け、進んで学ぼうとする児童の育成」  
～基礎・基本の定着と個に応じた指導を通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年・算数  
(県小教研算数部会より研究指定を受けたため。また、算数科は児童の習熟度に差が付きやすいため。)

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 「確かな学力を身に付け、進んで学ぼうとする児童の育成」 ～基礎・基本の定着と個に応じた指導を通して～</p> <p>仮説 ・学習の仕方の定着を図り、指導方法の工夫をし、一人一人に合った支援を行うことで基礎・基本が身に付き、学ぶ意欲を高めることができるのではないか。 ・読書や音読、計算などを毎日少しずつ繰り返し練習することで、基礎学力の定着につながり、学ぶ意欲を高めることができるのではないか。 ・地域や家庭との連携を図ったり、学習の環境を整えたりすることで、好ましい生活習慣や学習規律が身に付き、学ぶ意欲を高めることができるのではないか。</p> <p>研究内容・方法 研究の仮説及び研究の重点から、研究の内容を大きく3つの柱に分け、3部会を構成して研究に取り組むことにした。 《授業研究部会》 問題解決的な学習を通して、児童が確かな学力を身に付けるための学習指導・支援の在り方を研究する。 ・算数科の授業改善 学習指導と支援の在り方を研究する。 少人数指導等の指導体制、指導方法の工夫をする。 指導に応じた評価の在り方を研究する。 年間指導計画を作成し、教材の開発を行う。 学習規律を確立する。 《基礎学力部会》 基礎学力の定着を図る繰り返し学習の在り方を研究する。 ・おはようタイムの読書指導の在り方の研究に取り組む。 ・チャレンジタイムの指導の在り方の研究に取り組む。 2分間計算練習の指導 10分間作文の指導 音読練習の指導</p>
--------	--

- ・全校音読大会，全校計算大会を企画し，実施する。
- ・基礎学力の実態把握を行う。

《学習環境部会》

- 基礎学力の定着に必要な環境の整備を行う。
- 好ましい生活習慣を身に付けさせるための指導の在り方の研究を行う。
- ・保護者との連携を図る。
  - 家庭学習の在り方を研究する。
  - 好ましい生活習慣を身に付けさせるために，生活点検を行う。
  - 学校便りを発行する。
- ・算数コーナーを設置する。
- ・研究に関する資料の保管をする。

平成  
16  
年度

テーマ

「確かな学力を身に付け，進んで学ぼうとする児童の育成」  
～基礎・基本の定着と個に応じた指導を通して～

研究の見通し

- ・学習の仕方の定着を図り，指導方法の工夫をし，一人一人に合った支援を行うことで基礎・基本が身に付き，学ぶ意欲を高めることができるのではないか。
- ・読書や音読，計算などを毎日少しずつ繰り返し練習することで，基礎学力の定着につながり，学ぶ意欲を高めることができるのではないか。
- ・地域や家庭との連携を図ったり，学習の環境を整えたりすることで，好ましい生活習慣や学習規律が身に付き，学ぶ意欲を高めることができるのではないか。

研究の内容・方法

研究の仮説及び研究の重点から，研究の内容を大きく3つの柱に分け，3部会を構成して研究に取り組むことにした。

《授業研究部会》

問題解決的な学習を通して，児童が確かな学力を身に付けるための学習指導・支援の在り方を研究する。

- ・算数科の授業改善
  - 学習指導と支援の在り方を研究する。
  - 少人数指導等の指導体制，指導方法の工夫をする。
  - 指導に応じた評価の在り方を研究する。
  - 年間指導計画を作成し，教材の開発を行う。
  - 学習規律を確立する。

《基礎学力部会》

基礎学力の定着を図る繰り返し学習の在り方を研究する。

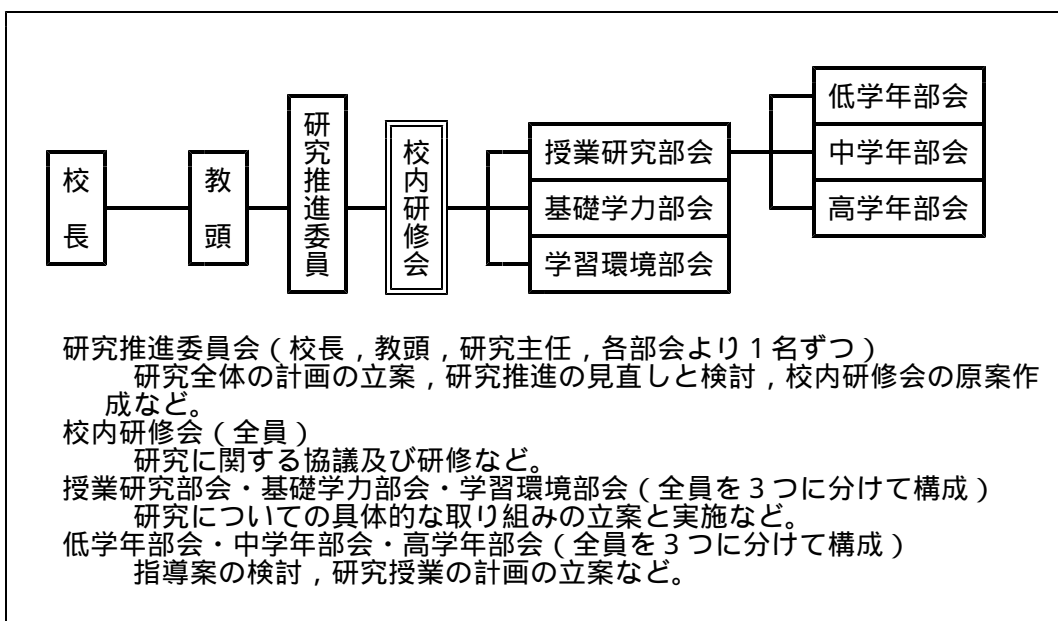
- ・おはようタイムの読書指導の在り方の研究に取り組む。
- ・チャレンジタイムの指導の在り方の研究に取り組む。
  - 2分間計算練習の指導
  - 10分間作文の指導
  - 音読練習の指導
- ・全校音読大会，全校計算大会を企画し，実施する。
- ・基礎学力の実態把握を行う。

《学習環境部会》

基礎学力の定着に必要な環境の整備を行う。

- 好ましい生活習慣を身に付けさせるための指導の在り方の研究を行う。
- ・保護者との連携を図る。
  - 家庭学習の在り方を研究する。
  - 好ましい生活習慣を身に付けさせるために，生活点検を行う。
  - 学校便りを発行する。
- ・算数コーナーを設置する。
- ・研究に関する資料の保管をする。

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

- ・ 学力向上に向けて研修を重ねたり，研究授業を行ったりすることで職員の力量が高まった。
- ・ 算数の授業に少人数指導を取り入れ，コース別の指導方法を工夫することで，個に応じた指導に近づくことができ，児童の算数に対する学習意欲も高まってきている。
- ・ 好ましい生活習慣を身に付けさせる取り組みとして，生活点検カードを利用してきたが，生活習慣に目を向ける保護者が増え，学習に意欲的で集中力の見られる児童が増えてきた。
- ・ 朝の読書や計算練習等に意欲的に取り組む児童も増え，集中力の高まりが見られた。
- ・ 児童にアンケート調査（第2学年～第6学年）を実施して調べた結果，「少人数指導を実施して算数が分かりやすくなった」と答えた児童が132人中97人で約73%，「少人数指導を実施して以前より算数にやる気が出た」と答えた児童が132人中83人で約63%であった。

#### 2. 今後の課題

- ・ チャレンジタイムの計算練習に関しても，個に応じた方法で取り組んでいく方向で検討していきたい。
- ・ 算数科の習熟度別少人数指導では，各コースのねらいをはっきりさせ，指導法の改善を今後も進めていきたい。
- ・ 学力向上の研究の成果をどのように説明していくのか，どのような客観的事実を取り上げていくのか，考えていきたい。
- ・ 評価が指導に生かされるよう，より有効な評価の方法と評価場面の設定について検討していきたい。

### 学力等把握のための学校としての取組

- ・ 定期的な学力検査の実施（年1回）
- ・ 児童の少人数指導及び算数に関する意識調査（年2回）
- ・ 保護者への生活習慣に関する意識調査（年2回）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

・研究発表会を実施 日時：平成16年11月2日(火)  
場所：総社市立神在小学校  
詳細については未定

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】  15年度からの新規校  14年度からの継続校
- 【学校規模】  6学級以下  7～12学級  
 13～18学級  19～24学級  
 25学級以上
- 【指導体制】  少人数指導  T・Tによる指導  
 一部教科担任制  その他
- 【研究教科】  国語  社会  算数  理科  
 生活  音楽  図画工作  家庭  
 体育  その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】  有  無